

テーマ：もっと『頭がいい人の生成 AI の使い方』

講師：橋本大也氏（デジタルハリウッド大学教授）



日程：2025年9月16日

生成 AI は人間の知的生産性を“3倍”に高めるツールだと考えています。実際、私自身もこの1年間で3冊の本を出版できたのは、ChatGPTを中心とした生成 AI の助けがあったからです。ChatGPT や GPT-5 の登場で、最近の AI はマルチモーダルが当たり前になり、画像・動画・音声の扱いが大幅に向上し、もはや文章だけでなく、漫画、実写画像、動画編集、さらにはスピーチの作成から声の生成まで、一連の制作を一人で完結できる時代になりました。

AI は「知のトランスフォーマー」です。建築家の思想を読み込ませればその作風で携帯電話をデザインし、地域活性化のプランを依頼すれば2万字のレポートとパワポまで自動で仕上げる。データ分析も圧倒的で、ユニコーン企業 100 社の調査が数時間で終わり、SNS の世界構造も即座に可視化できます。さらに、AI はプログラム開発力も持ち、ニュースサイトや 3D 空間の生成、業務ツールの作成まで短時間で可能になります。これらを組み合わせれば、映像制作、資料作成、分析、企画立案といったあらゆる業務を、一人で高速に行えるようになるのです。

生成 AI は、「仕事を奪う存在」ではありません。むしろ、人間の知的能力を何倍にも拡張し、本来の創造や判断に集中させてくれる“最高の相棒”です。「事務」から「創造」まであらゆる仕事を横断する“知的生産装置”です。うまく使えば、誰もがこれまでの数倍の成果を出せるようになる。これが私の考える生成 AI 時代の本質です。

神奈川県生まれ。早稲田大学在学中に起業し、2000年に自然言語処理と機械学習を基盤とするビッグデータ分析会社・データセクション株式会社を創業、同社を上場へ導いた。現在は同社顧問を務める傍ら、デジタルハリウッド大学教授兼メディアライブラリー館長として教育・研究に従事。生成 AI や IT 戦略をテーマに講演・執筆活動も行っている。著書に『頭がいい人の ChatGPT & Copilot の使い方』（かんき出版）他。



図1 生成 AI は異なる形式の情報を統合・変換する



図2 事務から創造まであらゆる仕事を横断する“知的生産装置”